



自分の住む区税について

大田区立出雲中学校 三年 柴田 大晴

僕たちが住んでいる大田区では、安心してくらせるように、いろんなサービスや仕事が行われています。たとえば、ごみの回収や、公園をきれいにしてくれたり、高齢の人や子どもたちを助ける活動などがあります。こうした活動に使われているお金が「区税」です。区税にはいくつ種類があります。たとえば、特別区民税があります。これは、働いている人が毎年はらっています。自分で納める人もいれば、会社からまとめてはらっている人もいます。また、家や土地を持っている人がはらう固定資産税や小さな車を持っている人がはらう軽自動車税などがあります。

大田区では、この税金を使ってさまざまなことを行っています。たとえば、高齢の人たちのために福祉サービスを用意したり、子どもたちが安心してすごせる保育園や学校の整備をしたりしています。また、大雨や地震などの災害にそなえて、防災グッズや避難所を準備するためにも使われます。このように、区税は僕たちの毎日のくらしと深く関わっています。たとえまだ税金をはらっていないなくても、区税のおかげで、僕たちはきれいな道を歩いたり、安全に学校に通ったりすることが出来ます。

大田区では、税金の使い方を区民にわかりやすく説明しようがんばっています。広報紙やホームページで情報を見ることが出来ます。自分の住んでいるまちが、どんなことにお金を使っているかを知ることが、とても大切なことです。

僕たちがこれから大人になっていく中で区税のことをきちんと知って、まちのことに関心を持つことは、よりよい大田区をつくるための第一歩だと思います。税金は、ただはらうものではなく、みんなのくらしを支えるための大切な仕組みだということを忘れずにいたいと思います。

そして、僕たち一人ひとりがまちの一員として、自分たちの生活をよくするためにできることを考えることも大切だと思います。区税の使いみちに関心をもったりすることで大田区をもっと住みやすく、やさしい町にしていけると 생각합니다。

未来の大田区が、今よりもっと元気で、笑顔のあふれる場所になるように、僕もそのためにできることを少しずつ考えていきたいです。たとえば、身近なところから始めて、家族や友だちと税金について話してみたり、地域のイベントに参加してまちの人たちとふれあったりすることもその一歩だと思います。

税金や地域のことを自分ごととしてとらえる気持ちが広がれば、きっと、大田区は、これからもずっと安心してくらせる、みんなのまちであり続けると 생각합니다。